

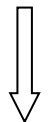
1. 学校教育目標

『自と他を大切にできる豊かな人間性と自律して社会を生き抜く力の育成』

～生徒・教職員・保護者・地域が連携し、知恵と力を合わせて誇れる学校を創る～

2. 本校生徒に身に付けさせたい資質・能力

『自らの意見や考えを伝える力』



1. 話しを聞く力と、情報や資料を正しく読み取る力と分析する力を身に付けさせる。
2. 自身の過去の経験を踏まえて、意見や考えを整理する力を身に付けさせる。
3. 相手に分かりやすく、言葉や文字、プレゼン資料やポスター等で伝える力を身に付けさせる。

3. 今年度の5つの重点目標と目標達成のための取組(取組の重点)

重点目標1 安心・安全で美しい学校づくり。

- ① 学年体制で、学校生活の基盤である学級を安全・安心な場とする。
- ② 一人ひとりを理解し、その特性を認め、活躍の場と存在感を与える。
- ③ 保護者との連携を密にし、学校に対する理解を深め信頼感の向上を図る。
- ④ 教育相談体制の充実、個別の課題に細かく対応する総合育成支援教育の充実を図る。
- ⑤ いじめ・不登校を未然に防ぐ取組を怠らず、また組織的対応によりゼロを目指す。

重点目標2 基本的生活習慣の確立と自己指導力の育成。

- ① あらゆる取組を通して、正しく判断し行動できる自己指導力を身につけさせる。
- ② 人権学習と道徳を重視し、自分も仲間も大切にできる豊かな心を育成する。
- ③ 家庭や地域への働きかけにより、基本的生活習慣の向上を図る。
- ④ 生徒一人ひとりの変化や事象を見逃さない細かな観察と情報の共有を図る。
- ⑤ 教職員自らが、ひとりの大人として目標にされ憧れとなる姿を見せる。

重点目標3 進路を意識し、考え自ら学ぶ生徒の育成。

- ① 学習の意義や目的を理解させ、主体的に学ぼうとする姿勢を育成する。
- ② 毎時の「めあて」「まとめ」「ふりかえり」を学習内容の定着と家庭学習に繋ぐ。
- ③ どの生徒にも活躍の場面があり、対話を通して、生徒同士で深め合う授業を実践する。
- ④ 学習の定着に課題のある生徒を、ひとりも取り残さず支援を行う。
- ⑤ 本校生徒に身に付けさせたい資質・能力を、全ての教育活動によって向上を目指す。

重点目標4 生徒会活動を中心とし、本校を誇りに思う生徒の育成。

- ① 「梅津の志」の定着を通し「言葉・約束・仲間」を徹底的に大切にする心を育てる。
- ② 小中合同の「いいことばの日」を、地域ぐるみの取組へと発展させる。
- ③ 地域の教育の中心としてのアピール機会を増やし、地域の教育力の向上を目指す。
- ④ 行事を通して成功体験や成就感を味合わせ、充実した学校生活を提供する。
- ⑤ 校歌を大切にし、梅津中学校を愛し、梅津中学校を誇りに思う心を育てる。

重点目標5 互いに高め合い補い合える教職員集団づくり。

- ① 信頼関係に基づき、互いの長所を活かした教職員チームの確立を目指す。
- ② 個々の役割と責任を果たした上で、広い視野で補い合い、人数以上の力を発揮する。
- ③ 素早く怠りがなく正確な報告・連絡・相談を徹底し、縦横の連携を強化する。
- ④ OJTと活発な研修会・教科会の重視により、GIGAなどを含めた教育力の向上を図る。
- ⑤ 危機管理意識の向上と服務規定の遵守、教育公務員としての倫理観を向上させる。